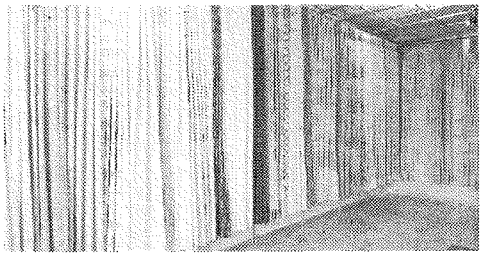
電話、ＦＡＸ兼用
0584(75)1289
●三重支社
津市栄町4の255
津栄町三交ビル３階
電　話　059(228)2545
ＦＡＸ　059(271)6311
●四日市支局
四日市市中浜田町4の16
ロイヤルマンション
ＨＡＭＡＤＡ208号
電　話　059(354)6116
ＦＡＸ　059(329)5333

一般販売も

中屋町3の51、丹羽信介保冷効果のある自社開発である。1枚物のカーテン店などにPRするほか、一般消費者向けへの販売（岐阜・武居皇弥）

とができる。

同社は欧州などの海外で使用される三重構造のカーテンの存在を知り、国内向けに改良を加えて2000年に同商品を開発。すでに市場投入している。今夏は、記録的な猛暑により厳しい電力需給が続き、節電への意識が高まっている。節電でエアコンを止めることなどで熱中症になるケースも増加していることから、無理のない節電活動を支援するため、本格的な提案を開始した。



100種類以上の柄と色の組み合わせを用意している

専門店などへの販売では、1センチメートル単位のオーダーメード対応を行う。ECサイトでは、多彩なサイズの既製品を展開する方針だ。価格は縦200センチ、横200センチのサイズで3万円ほどを想定している。

丹羽社長は「国内で同様の商品を販売するカーテンメーカーはほかにもあるが、当社は生地の生産から縫製までを一貫体制で手掛けており、安価に生産することができる。まずは当商品の周知に取り組みたい」と意気込んでいる。

EVシフト、6割が「マイナス影響」

企業団体中央会調べ

岐阜県中小企業団体中央会はこのほど、県内自動車部品メーカーのEV（電気自動車）シフト対応に関する、会員など向けに実施した事業者アンケートの調査結果を発表した。EVシフトに関して、約6割の事業者が進むと予測しており、「マイナス影響」を受けている結果が出た。

一方、全体の25・0％は「チャンスと捉えている」と回答。プラスチック成形・加工を手掛ける事業者では、半数がチャンスと捉えており、軽量化による需要増を見込んでいる。また、20・8％が「分からない」と答えた。

「ない／行う予定なし」と回答している。

結果として、技術分野によってEV化による影響が異なることや、多くの事業者がマイナスの影響を懸念しているものの、取り組みが遅れている事業者が一定数存在することがわかった。

2022.8.15 中部経済

高齢者見守り実証実験で連携

いなべ市が終活支援企業と協定

【四日市】いなべ市はこのほど、終活ビジネスを手掛けるリードライフ（本社名古屋市、伊藤清文社長）と高齢者の見守りに関する実証実験で連携協定を結んだ。市内にある高齢者施設の夜間見守りや訪問介護利用者宅の安否確認などで、専用システムを活用。介護従事者の負担軽減、具合などの効果を検証する。

専用システムは、リードライフが販売元の「ミママモラート」を利用する。箱型の機器で、室内にいる人の脈拍や心拍、動きを非接触で計測。スマホなどからリアルタイムで確認することができる。

実証実験の場所は、「看護小規模多機能センターみざい」（いなべ市）。今月中にも実験を始め、3カ月～6カ月を目安に実施する予定。

則武小に児童書など

大垣共立銀行が寄贈

フェスティナ・レンテの私募債で

【西濃】大垣共立銀行はこのほど、フェスティナ・レンテ（本社岐阜市、永津伸二社長）が発行したSDGs（持続可能な開発目標）賛同型私募債の発行手数料の一部を利用して、岐阜市立則武小学校にコンプレッし込む。問い合わせは、産業振興課商工労働係（電話0574・62・1111）まで。

塩分70％減の釜飯のもと発売

ヤマモリ

ヤマモリ（桑名市）は、従来品に比べ塩分を70％カットした「減塩　鶏五目釜

長は「地域貢献ができて光栄。将来を担う子どもたちの役に立てれば」とあいさつ。松岡校長は「則武小が目標とする自立学習の推進に役立てたい」とお礼を述べた。